BUS DRIVER JOB INFORMATION

Driver's Interview vol.8

「バス運転手」という仕事。

函館バス株式会社
運転手　柏 憂哉

２０１２（平成24）年に函館バスに入社し、今年でキャリア13年目を迎えた現在43歳の柏憂哉さん。函館営業所所属の運転手として普段は路線バスに乗り、2週間に1度のペースで函館 - 札幌間の都市間バス『高速はこだて号』を走らせる。

「函館がどんなに車社会といっても、普通免許をもっていない人はたくさんいます。そういう人たちの生活に直接的に役立っているという実感があるのがこの仕事の醍醐味。仕事する以上は、どこかで誰かの役に立ちたいので。お客様から直接『ありがとね』『ごくろうさま』と声をかけていただけるのも嬉しいですよ」柏さんの運転手としてのポリシーは、絶対に無理をしないこと。たとえ道路状況によってダイヤが乱れたとしても、遅れを取り戻すための無理な運転はご法度。あくまで安全が第一だ。これは函館バス全体のポリシーでもある。

「お客様には申し訳ないですけど、そこはもう徹底してます。もう13年走ってますが、いまだに走るときの緊張感はあります。それは入社当初から変わらないですし、逆に緊張感を保ち続けることが大事だと思ってます」安全を考慮した上での遅れに対しては会社からの指導はなく、逆に遅れにより勤務時間外にさしかかったときは手当がつく。

「常にチームで何かを動かす仕事であれば休みが取りにくい面もあるかもしれませんが、僕たち運転手は個々が独立して仕事をしているので、休みは取りやすいですし、有給休暇も遠慮なくとれる。当たり前のことが当たり前のようにできる会社って、ありがたいですよね（笑）」。